

# 附属学校

## 中央大学高等学校

### ■ 模擬裁判

2月18日に、中央大学法学部・総合政策学部に進路が決まった3年生が市ヶ谷キャンパスの模擬法廷で模擬裁判を行いました。今年で3回目の実施となる模擬裁判ですが、生徒たちは3学期を利用して模擬裁判開廷のための準備を進めます。事件の設定から自分たちで行い、法律を調べ、裁判に至るまでの過程を教員との対話の中で学習していきます。途中、本校卒業生の弁護士を招いて特別講義も行われ、現役の法曹から実際の裁判の様子や法律理論に触れる機会を得て、模擬裁判に向けて気持ちを高めています。市ヶ谷キャンパスでの本番は、模擬法廷の重厚な雰囲気も手伝って、緊張感漂う

裁判が展開されました。この模擬裁判では、法科大学院の鈴木芳夫教授から講評をいただきました。

### ■ 入学式

本校では、例年、全校生徒が出席して新入生を迎える形式で入学式を実施していますが、今年は東日本大震災の影響で、新入生のための式典となりました。一時は実施できるかどうか危ぶまれるような状況で、当日も大きな余震を心配しながらではありませんでしたが、中央大学の附属の高校生として自覚を持つことを宣誓した新入生の言葉、それに対する生徒会長の歓迎の挨拶を通して、本校らしい心温まる雰囲気にも包まれたものとなりました。



## 中央大学杉並高等学校

### ■ 坂田聡先生、第13代校長に就任

岩下武彦前校長に代わり、文学部教授の坂田聡先生が、本年4月1日付で第13代校長に就任しました。坂田聡校長は、東日本大震災に触れながら、「正解」のない難問への対処を自分の頭で考えていく力こそが高校生にとって重要であると、生徒に対し真摯に語りかけました。

### ■ 震災と本校の防災の取り組み

3月11日の地震発生時、本校には180余名の生徒が登校していました。140名が体育館で夜を明かし、翌日昼過ぎには生徒の携帯電話網を利用して、全生徒の安全を確認しました。この迅速さは特筆に値するものと自負しています。

本校での防災の取り組みは、全生徒対象の普通救命講習会の実施、防災士の教員2名を中心とした「死なない学校」「避難所としての学校」づくり、「防災教育」の促進等を軸に進めています。震災2週間前の2月26日には、大規模都市災害時の対応について、全教員でシミュレーションを行っていました。行動マニュアルについては日本防災士機構の橋本茂先生に監修いただき、当日は減災・復興支援機構の宮下加奈先生に指導いただきました。そのため教職員は震災時も落ち着いて行動できました。本校の防災は私学の中でも進んでいます。今後も防災の中核として他校をリードする存在でありたいと考えています。



## 中央大学附属学校 紹介ビデオが完成

中央大学の4附属高校と2附属中学の紹介が約4分にまとめられた学校紹介ビ

デオがWebサイト「プレジデント Family Club」の「学校情報」でご覧いただけます。

各校の特色ある教育や生き生きとした本学附属校ならではの学園生活は、これから中央大学への進学——附属校受験を

考えている方には必見です。本ビデオのDVDについては、『スクールツアーズ2011』のタイトルで6月19日、声の教育社主催の『受験何でも相談会』から配布を開始しています。

## 中央大学附属中学校・高等学校



### ■ 東日本大震災の対応

3月11日東日本大震災当日、150数名の生徒が帰宅できなくなりました。これらの生徒を免震構造の1号館に集め、部屋割りを行い、備蓄していた毛布と非常食・飲料水を支給し、宿泊体制をとりました。地震による大きな被害はありませんでしたが、その後の余震・計画停電・原発問題により、終業式をはじめとする学校行事の中止や日程の変更を余儀なくされました。4月末には、ほぼ通常のエデュケーション活動に戻りましたが、これを機に、緊急時に備えての対策を再検討しています。

### ■ 入学式

4月9日(土)、高等学校の講堂で、午前に中学校、午後に高等学校の入学式を挙行しました。中学校の入学式は、保護

者や在校生・来賓・教職員の拍手の中、新入生185名が入場して始まりました。校歌の斉唱後、クラス担任が新入生一人ひとりの名前を読み上げ、次いで、三枝幸雄学校長の式辞、永井和之総長・学長と平田和久後援会会長の祝辞と続きました。最後に、在校生から「歓迎のことば」が、新入生から「入学のことば」が述べられ、式は終了。高校の入学式も、中学とほぼ同様の形式で行われ、373名の新入生が入学しました。

### ■ 第二体育館・プールの改築

2010年7月から、老朽化した第二体育館・プール・部室棟の改築と、中高をつなぐプロムナードの建設を行っています。プールは6月から仮使用が始まり、体育館等は、10月末に完成する予定です。

## 中央大学横浜山手中学校・高等学校



### ■ オーストラリア研修

2011年3月24日より4月3日まで、オーストラリアのメルボルン市にある姉妹校マリアンカレッジで、オーストラリア研修を行いました。

研修には、中学3年生7名と高校1年生14名の計21名、引率の専任教員2名が参加。当初予定していた直行便が、東日本大震災の影響から欠航となったため、香港を経由し24時間の行程で現地入りしました。

オーストラリアでは、先住民のアボリジニ・カルチャーセンターでのブーメラン制作や老人ホームでの慰問活動など様々な経験を積み、異文化に対する理解を深めました。

### ■ 2011年度入試

中央大学の附属校として初めて行われ

た中学校、高等学校の2011年度入学試験は、昨年度を大きく上回る受験者を集め、その結果、高等学校57名(昨年度49名)、中学校138名(昨年度112名)の新入生を迎えることとなりました。なお、高等学校新入生は、中学校からの内部進学生28名と高校からの新入生を合わせて85名となりました。

### ■ 新制服を採用

2011年4月より、今までの制服デザインを一新しました。新制服のデザインコンセプトは、「着やすく、気品と知性を感じられ、温度調節ができるお洒落なデザイン」。新制服は、機能性、環境性も重視し、生地にも配慮しました。

2012年度からの男女共学化にともなう男子生徒の制服についても同じコンセプトのもとでデザインされています。